

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公開番号】特開2009-67891(P2009-67891A)

【公開日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2007-237859(P2007-237859)

【国際特許分類】

C 08 L 51/08 (2006.01)

C 08 K 5/5435 (2006.01)

C 09 D 5/02 (2006.01)

C 09 D 175/04 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 08 L 51/08

C 08 K 5/5435

C 09 D 5/02

C 09 D 175/04

C 09 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シェル層がカルボキシル基を有するウレタン樹脂(a1)からなり、コア層が塩基性窒素原子含有基を有するビニル重合体(a2)からなるコア・シェル型樹脂粒子(A)、加水分解性シリル基またはシラノール基と、エポキシ基とを有する化合物(B)、及び水系媒体を含有してなり、前記コア・シェル型樹脂粒子(A)が水系媒体中に分散してなることを特徴とする水性樹脂組成物。

【請求項2】

前記ビニル重合体(a2)が、更に加水分解性シリル基またはシラノール基を有する、請求項1に記載の水性樹脂組成物。

【請求項3】

前記ウレタン樹脂(a1)と前記ビニル重合体(a2)との質量割合[(a1)/(a2)]が10/90~70/30である、請求項1に記載の水性樹脂組成物。

【請求項4】

前記ウレタン樹脂(a1)が、カルボキシル基含有ポリオールを含むポリオールとポリイソシアネートとを反応させて得られるものである、請求項1に記載の水性樹脂組成物。

【請求項5】

前記ウレタン樹脂(a1)の有するカルボキシル基由来の酸価が、10~50である、請求項1に記載の水性樹脂組成物。

【請求項6】

前記ビニル重合体(a2)が、前記ビニル重合体(a2)の全量に対して10~700mmol/Kgの塩基性窒素原子含有基を有する、請求項1に記載の水性樹脂組成物。